

嶺北地域	主な意見 (※下線は具体的に検討する取り組み)
<p>本山町</p>	<p>【農業】 ○ <u>地域の方を営農組織で雇用して、地域の中でお金を回していく仕組みづくりをしていきたい。</u></p> <p>○ <u>公設牧場の方針を本年度中に決定したい。</u></p> <p>○ <u>食1グランプリで好評であった「肉巻きおにぎり」を新たな特産品として売り出していく。</u></p> <p>○ <u>鳥獣被害対策の一環として捕獲したシカ肉を「清流館」での新たな名物料理として活用していきたい。</u></p> <p>○ <u>定量的に出荷が可能な原木シイタケを特産品として売り出したい。</u></p> <p>【林業】 ○ <u>森林面積が非常に広いが、森林組合の夏場の仕事がないこと、技術継承がうまくいっていないことなどから、間伐の面積等も下がってきている。</u></p> <p>【商工業】 ○ <u>石窯ピザ、ワイン、焼酎など地域の食材を活用した地域限定の名物料理の提供による商店街の振興に繋げる</u></p> <p>○ <u>ほうむ合同会社を地域商社として位置付け、「れいほくフランド」での特産品の販売を強化する。</u></p> <p>【観光】 ○ <u>工石山は、資源としてはすばらしいものがある。今は活用できていないが、他町村の資源と結び付けて宿泊していただけるようにしていきたい。</u></p> <p>○ <u>清流館では夏場の活動が中心なので、冬場の体験観光を導入していきたい。</u></p> <p>○ <u>嶺北の特徴ある棚田は観光資源になり得るので、フランド米「天空の郷」と連動させ、棚田観光として売り出しができないか。</u></p>
<p>大豊町</p>	<p>【農業】 ○ <u>ゆずの施設はできたが、一緒に販売先の開拓を進めていくことが必要。</u></p> <p>○ <u>ゆとりファームの農業部門にはずっと支援していかないと、中山間地域ではやっていけない。</u></p> <p>○ <u>「ぜんまい」を中心として中山間地域で暮らしていきける複合型のビジネス展開に取り組みたい。</u></p> <p>【林業】 ○ <u>林業で収益を上げるのは、いろいろな支援制度があって、やっと間伐できるという状況である。</u></p> <p>○ <u>最近、林地所有者が町外で暮らしており、なかなか団地化が進まない。</u></p> <p>【観光】 ○ <u>H23年6月に観光協会のホームページを立ち上げ、観光交流の情報を発信していく。</u></p> <p>○ <u>ゆとりすとパーク大豊の指定管理者が変わったことから、町も側面バックアップとして県内外の企業に対し、職員の保養施設としての契約を働きかけている。</u></p> <p>○ <u>農家民泊を推進することにより、農村体験を売りにした修学旅行や研修旅行の誘致につなげたい</u></p>
<p>土佐町</p>	<p>【農業】 ○ <u>米粉はフル稼働状態なので、新たに乾式の施設導入を検討中。県内で加工したいが、技術的な問題等で実際はできていない。</u></p> <p>○ <u>㈱れいほく未来と連携して休耕田を活用していきたい</u></p> <p>○ <u>新たなフランド米として「雲海の光」の販売に取り組んでいく。</u></p> <p>【林業】 ○ <u>山を「健全な山」にしていくことに力を入れている</u></p> <p>○ <u>敷き料としてのおが粉の確保が必要になっている(二次破砕などの施設が必要)</u></p> <p>【商工業】 ○ <u>ポータルサイトは、1~2年でものにするべく努力中。販売手段を持たない農家の助けとしたい。</u></p> <p>【観光】 ○ <u>嶺北地域観光・交流推進会議を核として地域の観光資源を一体的に売り出していくことが必要</u></p> <p>【分野共通】 ○ <u>ふるさと雇用基金事業で雇用した方の、H24年度以降の継続が課題</u></p>
<p>大川村</p>	<p>【農業】 ○ <u>農協の婦人部で焼き肉のたれなどを作っているが、取り扱う販売者側の価格決定権が強く、利益が出ていない。</u></p> <p>【林業】 ○ <u>四国の他県で認知度の高い早明浦ダムの水源保全をコンセプトにした木材販売を展開していく</u></p> <p>【水産業】 ○ <u>坑道を活用し、陸上養殖による「嶺北のさかな」の商品化と販売に取り組んでいく。</u></p> <p>【観光】 ○ <u>大座礼山を中心として、近隣県とも連携し、山岳観光を復活させていく。</u></p>